

2016年(第3回)「3・11から考える釣りと環境シンポジウム」

発言者紹介

○佐藤 純俊さん（NPO法人「全国福島県人友の会」代表）

原発事故で富岡町から埼玉県杉戸町に避難。自宅は第一原発から7キロの期間困難区域。地元の人たちと生活再建に取り組む。

○愛澤 弘子さん

原発事故で浪江町からいわき市に避難。
「朝日」への投稿が全国的な注目に。
マツタケ「迷人」

○村上 哲弥さん

福島県三春町から葛尾村の除染作業に従事。ルアーマン。

○岡田 直樹さん（京大の先生）

溪流魚や植物の放射能を調査。
森林学会で発表。



（見形塩谷町町長（中央）を囲んで）

開会あいさつは瀬畑雄三さん

○増田 薫さん（松戸市議会議員）

千葉県松戸市で、「放射能から子どもを守りたい」とお母さんたちと活動

○見形 和久さん（栃木県塩谷町長）

放射能を含む質指定廃棄物最終処分場建設に町ぐるみで反対運動の先頭に立ち奮闘



（ヨガの講師も務める
前島久美さん）

○前島 久美さん（大鹿の100年先を育む会）

長野県大鹿村でリニア新幹線工事による環境問題を訴える

○浦 壮一郎さん（フォト・ジャーナリスト）

全国のダム建設による環境破壊を訴え続けているフライマン。

3・11から考える釣りと環境シンポジウム

■日時— 2016年3月20日（日）14：00～16：30

■会場— 石神井公園区民交流センター
（西武池袋線・石神井公園駅 北口前）

■会費— シンポ500円 交流会費2,000円

○連絡先— 080-3384-8801（渡辺）